様式３(2010.09改)

作成日　平成　26年　10月28　日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375200652
事業所名	グループホーム遊楽苑師勝

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	利用者と近隣を散歩して、地域の人と挨拶を交わしている。また、利用者と一緒に地域の夏祭り、秋祭り、防災訓練などに参加して交流を深めている。敬老会の日には、近隣に日頃お世話になっているお礼も兼ねて、挨拶周りをしている。地域の中学校の生徒１クラスが来訪して利用者と一緒に折り紙をしたり、合唱をするなど楽しい時間を過ごしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	会議は年６回開催している。会議は施設運営状況、活動状況を報告後に意見交換会を行っている。会議の中で、職員の名前と顔が一致しないので職員紹介の通信を作って欲しいとの声があり、全職員の写真を撮り職員紹介の通信を作成している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	市の高齢福祉課や地域包括支援センターに、困難事例など相談して助言を貰っている。職員は県や市主催の認知症介護実践者研修などの研修を受講したり、定期的に行われている地域包括ケア研修会に参加して交流を深めている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	家族からの要望や意見は、家族の来訪時や運営推進会議、年１回の家族会、毎年９月に懇談会を行い聞いている。家族から、外出を増やして欲しいとか足腰を鍛えて欲しいなどの要望があり、近隣の散歩など戸外出る様に努めたり、体操をして身体機能維持に努めている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎

１.外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２.外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目２、３、４については１つ以上、外部評価項目６については２つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。